

―業績が堅調に推移しています。今後の業績見通しは。

「上期ベースでは経常利益が4年連続で過去最高となった。通期でも4年連続での過去最高に向けて手応えを感じている」

―2024年は航空機リースなどのトランスポート・ソリューション事業が好調でした。今後の事業方針は。

「中堅の航空機リース会社でも（メーカーの減産によって）航空機を発注しにくくなっている。そのため、当社グループは引き続き航空機リース業界で上位のポジションを維持すること、市場の成

VISION 展望 2025

三井住友ファイナンス&リース社長 橘 正喜氏



航空機 30年に1500機規模

たい」

―トランスポート・ソリューションでは航空機以外にも注力しています。

「トランスポート・ソリューションの中でも（資産の）分散を進め

ている。航空機を軸に、エンジンやヘリコプター、船舶などで成

長を取り込んでいき

―25年度は現行の3カ年の中期経営計画の最終年度です。

「中計には結果を出す、基盤をつくる」とい

る。30年に向けた営業

―今後、特に注力される点は。

「中計では社会価値拡大がビジネス創出を

な企業との連携を模索

―金融、事業、デジタル変革（DX）を3本の矢として成長を

「中計では社会価値拡大がビジネス創出を

指す新たなDX戦略を24年に打ち出した。た。

「全社員にDXが当たり前前だと思っ

「中計では社会価値拡大がビジネス創出を

記者の目

同社は発注済みを含めた航空機の保有、管理機体を30年にも足元の約1.5倍となる1500機規模まで増やす方針。ただトランスポート・ソリューション事業の資産残高は足元で全体の約4割を占める。そのため資産の膨らみを抑えつつ、事業規模を拡大できる管理の割合を高める考えだ。航空機の投資家らとの連携を深められるかが戦略の成否を左右する。

（石川雅基）

投資家らとの密な連携力ギ